学校番号	304

令和３年度国語科

教科	国語総合	科目	現代文	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「国語総合」　（教育出版）						
副教材等	アドバンス１（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

まず自主的に学習しようとしましょう。その上で
１、教材に興味を持つ。
２、作品構造を理解する。
３、作品全体の主題を理解する。
４、今回の学習を今後に生かす。
などに気を付けて文章を読み進めていきましょう。

2　学習の到達目標

１、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
２、論理的に考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。
３、言葉が持つ価値の認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、我が国の言語文化の担い手として言語を通して、他者や社会にかかわろうとする態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d　:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	１、日常の言葉遣いなど言語生活に関心をもち、伝え合う力を高める。 ２、人間、社会、自然などに広く目を向け、考えを深める。	１、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して伝え合う内容を検討する。 ２、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。	１、実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。	１、文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。	１、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ２、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使う。 ３、言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。

評価方法	行動の観察 ノート 感想文 意見文 定期考査	行動の観察 ノート 感想文 意見文 定期考査	記述の確認 ノート 感想文 意見文 定期考査	記述の確認 ノート 感想文 意見文 定期考査	行動の観察 記述の確認 ノート 感想文 意見文 定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	評論Ⅰ	自由な主体となるために 1. 読む 2. 教材に対して意見･感想を持つ	◎	○	○		○	a・b:筆者の述べる「自由」を自己にひきつけて考えている。 c：筆者の考えを受けて自己の「自由」を改めて見直している。 e:語句の意味、用法を的確に理解している。	観察 ノート 感想文 意見文 定期考査
	小説Ⅰ	羅生門 1. 読む 2. 教材に対して意見･感想を持つ 3. 意見交換する	○	◎		○	○	a:作品・作者について興味を持つ。 b:描かれた人間の生き方を自身に引き付けて考える姿勢を持つ。 d:下人の心理の移り変わりを場面に即して読み取っている。 e:語句の意味を正しく理解し、大意を正しく読み取っている。	観察 ノート 感想文 意見文 定期考査
二学期	評論Ⅱ	水の東西 1. 読む 2. 教材に対して意見･感想を持つ 3. 意見交換する	○	○			○	a:説明・説得の方法に興味を持っている。 b:対比を効果的に用いて、自分の考えを表現している。 e: 強調したいことによって対比の対象が異なることを理解している。	観察 ノート 感想文 意見文 相互評価 定期考査

	詩	甃のうへ サーカス 1.　鑑賞する 2.　創作する	○	○			◎	a:作品に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。 b:作品に込められた作者の思いを読み取っている。 e:表現上の特色とその効果について理解している。	観察 ノート 感想文 創作 定期考査
	評論Ⅲ	思い出せない記憶 1. 読む 2. 教材に対して意見・感想を持つ	○	◎		○	○	a:本評論の進め方に興味を持っている。 b:言葉というものの働きに焦点を絞って考えている。 d:評論の構成・論証の仕方を理解している。 e:抽象的な語句を把握し、大意を理解している。	観察 ノート 意見文 定期考査
三学期	小説Ⅲ	なめとこ山の熊 1. 読む 2. 教材に対して意見・感想を持つ 3 グループワーク	○	◎	○		○	a:作者と作品について予備知識を持ち、本小説についての関心を持つ。 b:各自の把握した主題を発表し、他の意見と比較する。 c:小十郎の心情・心理を理解する。 e:表現の優れたところ、効果的な箇所を理解し、味わう。	観察 ノート 感想文 意見文 相互発表 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 話す・聞く能力
c: 書く能力　　d: 読む能力　　e: 知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。